

県民の日の事業、「美しい郷土づくり運動」の一環として、六月二十二日(火)に沼田県知事をお迎えし、佐原小学校五年生全員が、校庭脇の小野川の deshalb 「鮎」の放流を行った。

沼田知事と佐小児童 小野川へ鮎を放流



放流に先立ち、校庭で式典が行われた。「佐原は水運によって発展し、川に特徴のある町。この小野川に鮎を放つことで、ますます川が綺麗になり、親しまれる町になることを願う。」と、沼田県知事、鈴木市長、谷田川県議からの挨拶。式には、本会の加瀬代表、大高副代表も来賓として参加。



鈴木市長と来賓として参加した加瀬代表、大高副代表

式典後、児童達と来賓の方々は、勢いよく跳ねる鮎二千尾を次々に放流した。鮎は、川の微生物をよく食べ、川をきれいにする魚として知られている。今年も、すでに小野川以外の五河川で放流事業が実施されています。



佐原の町並みの中央を流れる小野川の水がきれいなになり、放たれた鮎が大きく成長して、見る人の心とむの来ることを楽しみます。

各委員会の活動内容を決定する 六月定例会

六月定例会で、各委員会の本年度前期の活動内容を決定し、事業推進の確認をしました。

●総務委員会 町並みへ誘導するための標示板をどのようにしていくかを検討。

●まちづくり委員会 恒例の小野川清掃を七月二十九日(木)に実施することを決定。

小野川清掃

会員多数の参加をお願いします!

七月二十九日(木) 九時

集合場所 正上駐車場

●広報委員会 かわら版を発行し、会の活動状況を随時、お知らせする。

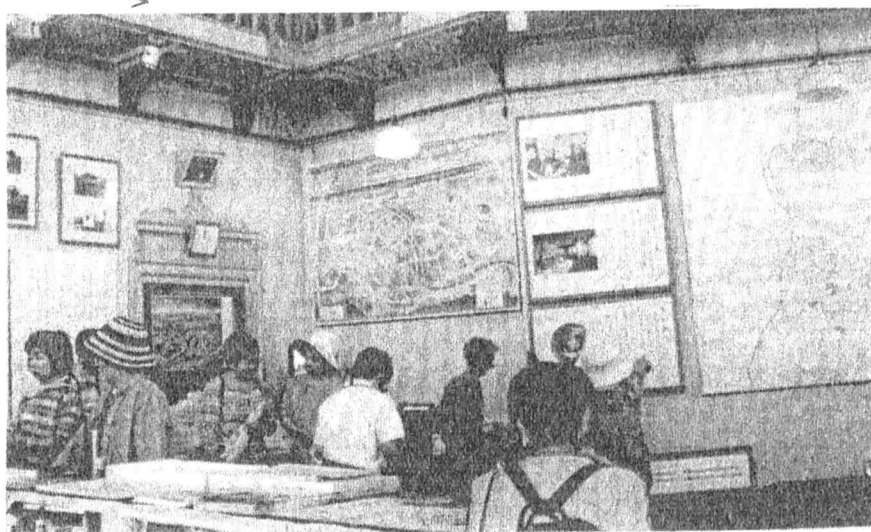
●三菱館運営委員会 このころ、当番をする人が少なくなり、三菱館を開館できない日がある。会員は月に二回(午前又は午後半日を単位)都合を付けて出るようにしてほしい。休館日以外は

地図の町のイメージを

町並みを考える会の三菱館運営委員会が中心となり、館内の展示物を整備、模様替えを行いました。入口から見て左側の壁面は、考

える会の活動の歴史や町並み整備について掲示しています。正面右側は、市街地の拡大地図に市の主な観光場所を示し、それぞれの説明文、写真で掲示。これ

は、まちづくり委員会が作成。また、正面左側には市内の観光案内マップを拡大し、綺麗に彩色したものを掲示。これは、そのマ



たくさんの観光客で賑わう館内

シャッターが下りている日が無いようにしたい。との担当者からの発言。この問題は出席した会員誰もが切実な問題として捉えていた。六月のあやめシーズン中には、三菱館の来館者が、一日に五百名を超える程の盛況ぶりであった。やはり当番は貴重な活動である。

三菱館当番に

積極的な参加を!

その他「会員証」の発行について話し合った。本会は名前のとおり、小野川と町並みの保存を真剣に考える会として活動してきました。また、これからも活動していく上で、意識を強めるためにも「会員証」を発行し、各自携帯するようにしたいという提案があり、全員一致で決定した。

町並み話

「観福寺には、国の重要文化財に指定されている四躯の銅造仏があります。鎌倉時代に造られた貴重な懸仏ですので、ぜひご覧になって下さい。」と写真説明したところ、観光客の一人が

「本当だわ、この仏様たちみんな欠けているわ。」と大真面目にうなづいていました。ひどい勘違いです。仏様ごめんなさい。

もう一つ、正上さんの説明で、「店舗の部分は天保三年に建てられました。」と説明すると「この案内所は漫才教室みたいだね。」とみんなで大笑い。